

社 会 科 学 習 指 導 案
単元名「第3章 日本の諸地域 第4節 中部地方」

令和〇年〇月
2年 指導者 〇〇 〇〇

I 単元の構想

1 単元観

本単元は、地理的分野(3)日本の諸地域において、③「産業を中核とした考察の仕方」について中部地方を取り上げて構成されたものである。中部地方は、北陸・中央高地・東海の三つの地域に分けられ、それぞれ異なる自然環境や歴史的背景の下で発展した産業について分析・考察する活動に適している。また、京阪神・東京の二大都市圏をはじめ他地域との結び付きを支える交通の発達とも密接に関わっており、交通網の発達と産業の発展の因果関係について明らかにしていくことも重要となる。

このように、中部地方は三つの地域がそれぞれ異なる地理的条件を活かしながら特色ある産業が発達しており、自然環境・他地域との結び付き、あるいは歴史的背景など他の中核となる地理的事象と関連付けて考察することに適した地域であるといえる。

2 研究との関わり

本研究は、E S Dの視点を用いて、社会につながる学びに生きる力の育成を目指すものである。まず、E S Dの視点に立った学習指導で重視する七つの能力・態度の育成を意図的にねらった単元構想を行い、その上で学習過程に対話を中心とした協働的な学びを段階的に位置づけている。また、E S Dの視点を取り入れた学習管理シートを用いることで、教科の学びにとどまらず、広く社会で応用可能な汎用性のある能力や態度について実感させ、育成することを目指している。

本単元では、学習課題を設定後、三地域を比較する活動、交通網や歴史的背景との関連を探りながら安中市でも行える取組について考え・議論するなどの活動を行う。その中で、現代社会の問題を主体的に捉え、身近な課題を発見・追究・解決する過程を経験することにより、生徒の価値観や行動の変容につながることを期待できることから、本研究の目指す生徒の育成につながると考えられる。

3 単元の目標及び生徒の実態


	目 標	児童（生徒）の実態
知識及び技能	・中部地方の自然環境や産業・交通に関連する事象、抱えている課題について理解するとともに、選択した資料について調べたりまとめたりできるようにする。	・個々の事象について時間をかけ、丁寧に理解しようとする生徒が多い。 ・これまでの学習活動を通して多くの資料の読み取りや活用について経験を積んできた。
思考力、判断力、表現力等	・中部地方の三地域について自然環境や交通網、歴史的背景などを有機的に結び付け、人々の抱える課題や解決策などを多面的・多角的に考察・表現できるようにする。	・社会的事象について複数の側面から考察することができる生徒もいる。 ・時間や空間のつながりなど広い視野に立って事象を捉え考察する経験を積んできている。
学びに向かう力、人間性等	・中部地方について、そこで見られる課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。	・自らの学びを振り返ったり見通しをもったりすることのよさを感じている生徒が多い。

4 評価規準

知識・技能	・中部地方の産業の特色をめぐり、自然環境や交通網との関わりに着目して人々の営みや課題について理解している。 ・中部地方について、資料から課題解決に必要な情報を効果的に調べたりまとめたりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・中部地方の三つの地域について、自然環境や交通網、また歴史的背景を踏まえて発展の要因や今後の課題等を有機的に結び付けて多面的・多角的に考察、表現している。
主体的に学習に取り組む態度	・見通しをもって学習に取り組み、課題を追究しようとしている。 ・他者の考えを取り入れながら、よりよい社会の実現を目指して課題の解決に向けて主体的に追究しようとしている。

5 指導及び評価、ICT活用の計画（全6時間）

過程	時間	■ねらい □学習活動 ★ICT活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目＜方法（観点）＞ 〔記〕：記録に残す評価 ○指導に生かす評価 ●評価に用いる評価
つかむ	1	<p>■中部地方の自然環境と交通網を概観し、地形・気候の特色を捉えられるようにする。</p> <p>□資料を基に中部地方の様々な事象に出合うとともに、その傾向や特色について話し合う。また、諸資料を基に学習課題を作成する。（★）</p> <p>〔本時のめあて〕 中部地方の自然環境と交通網について調べ、産業に関する単元の課題を立てよう。</p> <p>〔単元の学習課題（例）〕 自然環境や交通網を生かした地域産業の取組は、どのように行われているのだろう。</p>				<p>●</p> <p>◆地図や雨温図、交通に関する主題図を読み取り、中部地方の地域的課題について見通しをもっている。 ＜活動の様子（態）＞</p> <p>活用するESDの能力・態度 ②未来像を予測して計画を立てる力 ③多面的・総合的に考える力</p>
追究する	2	<p>■「自然環境」「交通網」を中核に三つの地域の産業と交通網の関わりについて理解するとともに、人々の暮らしや地域の課題と関連付けて整理することができるようにする。</p> <p>□中部地方に関する様々な事象について、「見方・考え方」を働かせて整理する。また、事象の因果関係や関連性を考えてマップに表現する。（★）</p> <p>〔本時のめあて〕 中部地方の自然環境や交通網は、どのような歴史を経て、どのような産業につながっているのだろう。</p>				<p>●</p> <p>◆中部地方の自然環境や交通網、歴史的背景を生かした産業や取組について、様々な情報を調べ、まとめている。 ＜マップ（知）〔記〕＞</p> <p>活用するESDの能力・態度 ③多面的・総合的に考える力 ⑤他者と協力する態度</p>
	3	<p>■「自然環境」「交通網」を中核に、人々の生活や産業に関する事象を関連付け、課題に対する自分の考えを表現（考察）することができるようにする。</p> <p>□マップにまとめた内容を基に人々の生活や産業についての自分の考えをまとめる。（★）</p> <p>〔本時のめあて〕 中部地方の自然環境や交通網は、どのような歴史を経て、どのような産業につながっているのだろう。</p>				<p>○</p> <p>◆調べた情報やマップを基に、自分の考えを組み立てて表現している。 ＜スライド（思）＞</p> <p>活用するESDの能力・態度 ③多面的・総合的に考える力 ⑦進んで参加する態度</p>

まとめる	4	<p>■単元の課題について、他者との対話を通して自分の考えをよりよい内容に補完・修正できるようにする。</p> <p>□課題に対する考え（考察）を他者と共有し、様々な角度から修正や追加を行って自分の考察をよりよいものにしていく。</p> <div> <p>[本時のめあて] 意見交換を通して、自分の考え（考察）をブラッシュアップしよう。</p> </div>	●	<p>◆他者との意見交流を踏まえ、自分の考えを補完・修正している。 <スライド（思） [記] ></p> <div> <p>活用するE S Dの能力・態度 ①批判的に考える力 ⑤他者と協力する態度</p> </div>
	5	<p>■単元の結論を活用してよりよい社会の実現について議論する活動を通して、身近な地域の在り方について考えられるようにする。</p> <p>□課題について他者と議論する活動を通して、よりよい結論を導く。また、「安中市として今後どうあるべきか」という視点で議論し、提言内容をまとめる。</p> <div> <p>[本時のめあて] 中部地方の取組を、他地域（安中市）でも生かしていくにはどうすればよいのだろうか。</p>  <div> <p>[単元の学習課題2] (中部地方の取組に学んで) 安中市の地域産業は今後どうあるべきか。</p> </div> </div>	○	<p>◆学習してきたことを生かして提言する内容について話し合い、表現している。 <記述（思）></p> <div> <p>活用するE S Dの能力・態度 ①批判的に考える力 ②未来像を予測して計画を立てる力</p> </div>
	6	<p>■中部地方の学習を通して学んだことを基に、今後の安中市の在り方について自分たちの考えを発信できるようにする。</p> <p>□中部地方の自然環境と交通網を生かした取組をモデルにして、今後期待される安中市の取組について提言を行う。（★）</p> <div> <p>[本時のめあて] 中部地方の学習を通して考えた「これからの安中市の地域産業の在り方」について提言しよう。</p> </div>	●	<p>◆よりよい社会の在り方について、主体的に追究・解決しようとしている。 <活動の様子・動画（態）></p> <div> <p>活用するE S Dの能力・態度 ④コミュニケーションを行う力 ⑥つながりを尊重する態度</p> </div>

II 第1時の学習

- ねらい 資料を基に自然環境と交通網を概観する活動を通して、中部地方の自然環境と交通網の特色を捉えられるようにする。
- 準備 教科書、学習管理シート、タブレット端末、電子黒板 ホワイトボード

3 展開

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)
1 中部地方(三地域)について知っていることを共有して、イメージをもつ。(10分) S: 豪雪、越前ガニ、白川郷、名古屋、新幹線 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <めあて・課題・見通し等> 中部地方の自然環境と交通網について調べ、産業に関する単元の課題を立てよう。 </div>	○中部地方について多面的・多角的に捉えられるように、適切な資料を提示する。 ◎学習前の実態を把握・共有するために、テキストマイニングを活用する。 ◎協働的な学びを生み出すために、積極的に他者との意見交換を取り入れる。
2 資料をもとに中部地方の自然環境や交通網について読み取り、特色を概観する。(20分) (★読み取った内容はGoogle スライドに記録) S: 地形と気候は三者三様だな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 中部地方の自然環境の特色 ・山がちな地域に平野や盆地が点在／地図 ・三地域でそれぞれ異なる特色がある／雨温図 ・京阪神と東京の中間に位置する／高速道路など </div>	○資料を正しく読み取れるよう必要十分な時間を充て、必要に応じて段階的に説明する。 ◎中部地方の特色に生徒が捉えられるように、具体例を交えながら「見方・考え方」を働かせ方について支援する。 ◎読み取った事実と人々の生活を関連付けて捉えられるように、記述の仕方について必要に応じて助言する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> それぞれに言えること 強み(魅力) ← 事象 → 弱み(課題) </div>
3 読み取った特色を踏まえ疑問や追究したいことについて話し合い、学習の見通しをもつ。 → 単元の学習課題を立てる(15分) S: 産業を交通網は密接に関わっていそうだな。 S: 地方ごとの強みと弱みは何だろう。共通点は何だろう。 S: 安中市との共通点、学べる点は何かな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 活用するESDの能力・態度 ②未来像を予測して計画を立てる力 ③多面的・総合的に考える力 </div>	○単元を通して追究する適切な学習課題を設定するために、 <u>必要に応じて生徒の発言をファシリテート</u> する。 ◎人々の工夫による課題の解決やよりよい社会の実現に向けた取組に意識を向けられるように、 <u>適宜課題設定の視点を補足</u> する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◆評価項目 中部地方の地域的課題について見通しをもつことができる。＜活動の様子(態)＞ </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; background-color: #f0f0f0;"> [単元の学習課題(例)] 自然環境や交通網を生かした地域産業の取組は、どのように行われているのだろう。 </div>	
4 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。(5分) S: 自然環境と産業の関りについて知りたい。 S: 安中市は中部地方の隣だから様々なつながりがあるのかもしれない。	◎学習内容や自身の頑張りをていねいに評価できるように、振り返りシートの項目を工夫し、十分な時間を確保する。 ○正しく学びの成果を蓄積するために、「学習管理シート」の使い方について必要に応じて説明や補助を行う。

第2時の学習

- ねらい 資料を基に調べたり整理したりする活動を通して、中部地方の自然環境や交通網を生かした地域産業の取組について関連付けて整理できるようにする。
- 準備 教科書、学習管理シート、タブレット端末、電子黒板 マップ (A3)
- 展開

<p>主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目 (観点)</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(5分) S:今日はどんなことを学ぶのかな。</p> <div data-bbox="172 562 746 734" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><めあて・課題・見通し等> 中部地方の自然環境や交通網は、どのような歴史を経て、どのような産業につながっているのだろう。</p> </div>	<p>○本時の活動に円滑に入れるように、前時の要点について対話形式で確認する。(対話式)</p> <div data-bbox="826 533 1417 645" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 三つの地域の特色ある気候・二大都市圏の中間地・各地を結ぶ高速・名古屋…</p> </div> <p>○活動を円滑に進めるために電子黒板を使って活動の流れや要点を説明する。</p>
<p>2 「見方・考え方」の働かせ方とウェビングマップの作成方法について全体で確認する。(5分) S:色々なキーワードの関連を見付けたい。どのようにつなげようかな。 S:まずは三地域ごとの特色を産業(工業・農業など)と関連付けてまとめてみようかな。</p>	<p>○「見方・考え方」を確実に働かせることができるように、具体例を示し必要に応じて個別に支援する。(学習管理シートの裏面を活用する)</p> <p>○重要語句を確実に調べることができるように、教科書p232の「キーワード」は必ずマップに取り入れることを確認する。</p>
<p>3 三つの地域(東海・中央高地・北陸)について、「見方・考え方」を働かせて情報分析と整理を行い、産業に関する事象をマップに整理する。(35分) (★マップは最終的にGoogleスライドに保存)</p> <p>S:名古屋が中心か。九州の福岡みたいだ。 S:三地域は気候はそれぞれ特徴があるな。 S:北陸は豪雪という環境を生かしている。 S:三地域とも高速道路を活用した産業だね。 S:綿花や養蚕に関連しているとは意外だな。 S:TOYOTAの存在は大きいな。 S:海外との繋がりとはどんな特色があるだろう。 S:安中に生かせるのはどんな工夫だろう。 S:自然環境は変えられないが工夫次第でよりよくできることはどんなことかな。</p> <div data-bbox="172 1731 762 1888" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>活用するESDの能力・態度 ③多面的・総合的に考える力 ⑤他者と協力する態度</p> </div>	<p>◎事象同士を結び付けながら産業の発展に関わる人々の営みに着目できるよう、マッピングの工夫について電子黒板に掲示する。</p> <p>○特色ある各地の産業についてより深く理解できるように、歴史的背景に着目するよう促し、具体例を示す。</p> <p>○円滑な活動につながるように、活動の途中で適宜生徒同士の自由な共有の時間を設ける。</p> <p>○生徒が課題解決に必要な情報を適切に選択・整理できるように、適宜個別の支援を行う。</p> <div data-bbox="866 1574 1393 1686" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ウェブマップ内にこういったコメントを積極的に残す→「考察」へ</p> </div> <div data-bbox="826 1709 1425 1921" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目 中部地方の自然環境や交通網、歴史的背景を生かした産業や取組について、様々な情報を調べ、まとめている。 <マップ(知)></p> </div>
<p>4 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。(5分) S:どの部分を中心に考察をつくろうかな S:三つの地域を上手く取り入れて結論をつくりたいな。</p>	<p>○活動時間を有効に使うために、個々の判断で本時の振り返りの時間を設定してよいことを伝える。</p>


第3時の学習

- ねらい 中部地方の特色ある産業の発展に関連する事象をマップに表す活動を通して、単元の課題に対する自分の考えを表現（考察）することができるようにする。
- 準備 教科書、学習管理シート、タブレット端末、電子黒板 マップ（A3）
- 展開

<p>主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 （5分） S：どの部分を考察の中心、具体例にすればいいかな。</p> <div data-bbox="199 584 799 759" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜めあて・課題・見通し等＞ 中部地方の自然環境や交通網は、どのような歴史があり、どのような産業につながっているのだろう。</p> </div>	<p>◎考察に必要な視点を示すことで、作成したマップについて見直せるようにする。</p> <div data-bbox="823 510 1434 734" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>考察に必要な視点（電子黒板掲示）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然や交通に絡めて特色ある産業に触れているか（魅力や工夫 課題 解決策 など） ・「見方・考え方」を働かせてまとめているか <p>（学習管理シートの裏面を活用）</p> </div>
<p>2 前時の活動を継続し、マップを完成させる。 （10分）（★マップはGoogle スライドに保存）</p> <p>S：あの子の意見、参考にしよう。</p> <p>S：マップにすると意外なつながりが見えるな。</p>	<p>○個々に納得のいく考察ができるよう、必要に応じて適宜個別にマップ作成の補助をする。</p> <p>○個々の能力に応じて弾力的に時間配分ができるよう指示する。</p>
<p>3 マップをもとに単元の課題に対する事象を整理して考察し、自分の考えをまとめる。 （30分） （★考察と動画はGoogle スライドに保存）</p> <p>S：マップを基に文章を考えよう。 S：三つの地域をコンパクトに整理したいな。 S：安中市に置き換えると、どういう感じかな。 S：友達の考察を読んで参考にしたいな。</p> <div data-bbox="225 1335 738 1469" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を客観的にみる・資料として ・自分の主張を発信する体験として </div> <div data-bbox="172 1503 794 1704" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>☆動画の撮影について</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 相手（聞き手）意識をもつ ② 文章の内容以外のスキルについて考える ③ 責任と自信をもつ </div> <div data-bbox="225 1834 783 1980" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>活用するESDの能力・態度</p> <ol style="list-style-type: none"> ③多面的・総合的に考える力 ⑦進んで参加する態度 </div>	<p>◎活動が円滑に進むように、作成したマップを基に考察の視点を教師が示し、全体で共有する。</p> <div data-bbox="858 1099 1418 1469" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>☆考察の視点（電子黒板掲示）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①マップから見えた単元の課題に対する自分の答え ②自分がとらえた中部地方の産業の特色 ③地域ごとの産業（人々の取組）についての具体例 ④マップ作成を通して立てた自分の考えたこと（主張） </div> <p>○個々の能力に応じて考察の内容や分量、方法について助言する。</p> <p>○円滑な活動につながるように、活動の途中で適宜共有の時間を設ける。</p> <p>◎自分の学びを客観的に見ることができるよう、考察したことを一人一人動画に記録する。（クロームブック）</p> <div data-bbox="823 1823 1418 1991" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目</p> <p>調べた情報やマップを基に、自分の考えを組み立てて表現している。</p> <p style="text-align: right;">＜スライド（思）＞</p> </div>
<p>4 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。 （5分）</p>	<p>○次時の内容について簡潔に伝えるときにも、本時の活動について具体的に称賛し意欲をもたせる。</p>

第4時の学習

- ねらい 他者との対話的な活動に取り組む活動を通して、単元の課題に対する理解を深め、自分の考え（考察）をよりよい内容に補完・修正できるようにする。
- 準備 教科書、学習管理シート、タブレット端末、電子黒板 まとめプリント
- 展開

<p>主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 (5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>＜めあて・課題・見通し等＞</p> <p>意見交換を通して、自分の考察（結論）を「ブラッシュアップ」しよう。（「磨き上げる」の意味）</p> </div>	<p>◎生徒が活動を通して考察の内容をよりよいものに修正できるように、ブラッシュアップの目的・方法を学級全体で共有する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>目的と方法</p> <p>★目的：意見を出し合い、自分の考えをよりよいものにします。</p> <p>★方法：積極的に指摘し合い、取り入れよう。疑問をぶつけあい、一緒に考える。</p> </div>
<p>2 課題に対する考えを他者と共有し、自分の考えを再構成し結論を導く。 (20分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆考え・考察の視点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学習課題に対する答えになっているか ② 自然環境の特色を中心にまとめているか ③ 具体例を挙げて人々の営みや思いについて触れているか ④ 学習したことに対する自分の思いや考えが示されているか </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>活用するESDの能力・態度</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;"> <p>①批判的に考える力 ⑤他者と協力する態度</p> </div> <div>でも、なぜ、たとえば、もし、</div> </div> </div> <p>(★再構成した考察はGoogle スライドに保存)</p>	<p>◎多様な考え方や価値観に触れることができるように、班編成を工夫する。 (通常班を解体、前時の内容を見て被らないように新しい3人組で編成)</p> <p>◎多様な意見を共有して生かせるように、メンバーの考察を読み合い、コメントをつける時間を確保する。(班で適宜) ※コメント：賞賛と指摘をバランスよく入れる</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目</p> <p>他者との意見交換を踏まえて、自分の考えを補完・修正している。 ＜スライド（思）〔記〕＞</p> </div>
<p>3 単元の課題に対する結論を学級全体で共有し、中部地方の学習のまとめを行う。 (20分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〔共有したい単元の学習課題についての結論の中心部分〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部地方は北陸、東海、中央高地がそれぞれに特色ある気候となっている ・厳しい自然環境や歴史的背景を巧みに利用して産業を発展させてきた（工夫と努力） ・高速道路など交通網の発達が発展を支えている <p>～過去に根差した工夫と努力で、未来を見据えて変化し続ける姿勢～</p> </div>	<p>◎単元で学習してきたことを生かすために、スライドを適宜活用するよう助言する。</p> <p>○重要な部分を共有するために、生徒の考察を取り上げながらまとめを行う。</p> <p>○単元の重要語句や要点をまとめるための課題に取り組み、考察や学習全体を補う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: right;"> <p>気付かせたい。</p> </div>
<p>4 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。 (5分)</p> <p>S：指摘をもらって再構成ができそうだ。</p>	<p>○本時の活動の様子について具体的に称賛するとともに次時の内容について簡潔に触れる。</p>

第5時の学習

- ねらい 単元の結論を活用してよりよい社会の実現について議論する活動を通して、身近な地域の在り方について考えられるようにする。
- 準備 教科書、学習管理シート、タブレット端末、電子黒板 マップ
- 展開

<p>主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <p>＜めあて・課題・見通し等＞ 中部地方の取組を、他地域(安中市)でも生かしていくためにはどうすればよいのだろうか。</p>	<p>◎必要十分な議論が各班で行えるように、議論の視点について学級全体で共有する。</p> <p>○社会参画意識の醸成につながるように、発表用のスライドの内容を工夫する</p>
<p>2 「安中市の地域産業は今後どうあるべきか」という視点で議論し、提言内容を話し合う。(30分)</p>	<p>◎単元で学習してきたことを生かせるように、作成してきたスライドを適宜活用するよう助言する。</p> <p>◎効率よく活動が行えるように、提言につながる視点を全体に示し共有する。</p>
<p>[単元の学習課題2] (中部地方の取組に学んで…) 安中市の地域産業は今後どうあるべきか。</p>	
<p>☆提言を作成する視点(電子黒板掲示)</p> <p>①安中市の産業について述べている ②自然環境や交通、歴史に関連させている ③参考にした中部地方の取組に触れている ④改善策や新しい取り組みを紹介している ⑤取組を通して目指す「安中市の地域産業の今後のビジョン」が明確に伝わる</p> <p>S: みんなで知恵を出し合って提言を作ろう。 S: これまでの単元のものを参考にしよう。 S: 分担を決めて効率的につくるといいな。 S: 中部地方で学んだことを取り入れよう。 S: この案は持続可能な取組になっているかな? S: この案は様々な立場の人に支持されるかな? S: 解決すべきことが明確になっているかな? S: この文章表現でちゃんと伝わるかな? S: 発表練習をやりたいな。 S: クリックノートを上手く使って作ろう。 S: はっきりといてねいに伝えたいな。</p>	<p>◎安中市の魅力を再発見できるように、資料を提供するとともに話し合う時間を十分に確保する。</p> <p>○自由で活発な議論が行えるように、各班にホワイトボードを配布し活用を促す。</p> <p>○円滑に提言が行えるように、方法や手順、分担などについて話し合うよう助言する。</p> <p>◆評価項目 学習してきたことを生かして、提言する内容について話し合い、表現している。 ＜記述(思)＞</p>
<p>3 作成した提言の発信に向けて練習する。(10分)</p> <p>活用するESDの能力・態度 ①批判的に考える力 ②未来像を予測して計画を立てる力</p>	<p>◎よりよい提言が行えるよう試行錯誤し、必要に応じて班同士で指摘し合うなどのアイデアを示す。</p>
<p>4 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。(5分)</p>	<p>○主体的に取り組む生徒の姿を具体的に称賛し、次時への意欲をもたせるようにする。</p>

第6時の学習

- ねらい 学習したことを基に今後の安中市の在り方についての考えを発信する活動を通して、持続可能な社会の実現について今後も関心や責任をもてるようにする。
- 準備 教科書、学習管理シート、タブレット端末、電子黒板
- 展開

<p>主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 (5分)</p> <p>S：自分たちの提言は安中市に役立つだろうか S：自分たちの思いは伝わるだろうか</p> <p>＜めあて・課題・見通し等＞ 中部地方の学習を通して考えた「これからの安中市の地域産業の在り方」について提言しよう。</p>	<p>○班ごとに最適な活動ができるように、本時の見通しを全体で共有する。</p> <p>――本時の流れ（電子黒板掲示）――</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 提言内容の決定 2 分担の確認・準備 3 リハーサル 4 提言本番（動画撮影） 5 振り返り
<p>2 提言内容の確認をして班ごとにリハーサルを行う。 (5分)</p> <p>S：矛盾や意味の分かりにくい所はないかな。 S：この言葉の表現、こちらに変更しようかな。 S：他の班はどんな工夫をしているんだろう。 S：立ち位置と順番はこれで大丈夫かな。 S：マイクにしっかり声が入るかな。</p>	<p>◎班のメンバー全員で「提言」に関わることができるように、発表方法や役割分担、手順などを工夫する。</p> <p>◎全員が当事者意識をもって関われるように、分担などについて適宜支援・助言する。</p>
<p>3 発表会形式で提言を行う（30分） （★提言の文章と動画はGoogle スライドに保存）</p> <p>S：○班の具体例はとてもわかりやすかった。 S：△班のスライドは内容が伝わりやすい。 S：◇班のスピーチは訴えかける感じだな。 S：◎班は中部地方の具体例が効果的だな。 S：□班のいいところは～～～なところだな。</p> <p>活用するESDの能力・態度 ④コミュニケーションを行う力 ⑥つながりを尊重する態度</p>	<p>◎発表者、聞き手双方の立場や意識を体験するために簡易的な発表会形式で撮影（記録）を行う。</p> <p>◎自分たちの主張を発信して感じたことを多くの人と共有できるように、感想を伝え合う時間を適宜設ける。</p> <p>◎生徒が達成感を味わえるように、発表の合間でコメントを送り合えるようにする。</p>
<p>4 単元全体の学習活動を振り返り、単元のまとめを行う。 (10分)</p> <p>S：中部地方の工夫は安中にも生かせるな。 S：今からできることを自分でも探してみたい。 S：誰かに伝えることはやりがいがあるな。 S：大人になっても安中市に住みたいな。 S：将来この経験が役に立つ時がある気がする。 S：どの地方も人々の工夫がたくさんあったな。 S：安中市のことをもっと詳しく知りたい。 S：どんな職業に就けば実際に関わられるのか。</p>	<p>◎円滑に振り返りが行えるように、振り返りの方法や注意点について学級全体で共有する。</p> <p>◎単元全体を通した自己の成長に目を向けられるように、全体・個別に称賛やアドバイスをを行う。</p> <p>◆評価項目 よりよい社会の在り方について、主体的に追究・解決しようとしている。 ＜活動の様子・動画（態）＞</p>

4 板書計画 (Google スライド)

・第1時 「第3章 日本の諸地域 第4節 中部地方①」

第4節 中部地方

「産業」に着目して

<https://youtu.be/zk3ZMhf-YzE?feature=shared>https://youtu.be/4G_edWA3w7?feature=sharedhttps://youtu.be/JMBTu_94Vic?feature=shared

<https://youtu.be/s13xDyRrH6E?feature=shared><https://youtu.be/s1A8pnioUJ?feature=shared><https://youtu.be/6s4kdBo6RU?feature=shared>

<https://youtu.be/lrMcu9UOK?feature=shared>https://youtu.be/pYrFEshdc_Q?feature=shared<https://youtu.be/gGstF0PCL9c?feature=shared>

<https://youtu.be/QuEnjxykwUw?feature=shared><https://youtu.be/EIYAiU7Z0?feature=shared><https://youtu.be/RYEwZ7WXUNg?feature=shared>

<https://youtu.be/ZDDxLv3V8?feature=shared><https://youtu.be/V5QOBG6-VvM?feature=shared><https://youtu.be/XmBN-AJ4HWM?feature=shared>

【本単元の学習に関連する動画リンク集】

Q2：中部地方に詳しくなろう！

日本海	太平洋
若狭湾	伊勢湾
富山湾	駿河湾
濃尾平野	能登半島
伊豆半島	
濃尾平野	富山平野
越後平野	

長野盆地	甲府盆地
松本盆地	関東山地
飛騨高地	伊吹山地
越後山地	
赤石山地	本郷山地
飛騨山地	

読み取った「事実」

自分の「意見」

【中部地方の地形的特徴を把握する図】

Q1：他の地方と比べて地形的な特色は？

読み取った「事実」

読み取った「事実」

自分の「意見」

自分の「意見」

【中部地方を既習の地方と比較する図】

Q3：気候の特色は？

読み取った特色（事実）

- ・北陸は、
- ・中央高地は、
- ・東海は、

自分の「意見」

【中部地方の気候的特徴を把握する図】

Q4：交通網（高速道路）の特色は？

中部地方の交通網の特色は、

このことから、

【中部地方の交通網について把握する図】

Q5：中部地方の自然環境・交通網の特色は？

1 地形の特色

日本海、太平洋に挟まれた山がちな地形。平野や盆地が点在している。

2 気候の特色

冬の降水量が多い北陸。あ降水量が少なく年間の気温差が大きい中央高地、夏の降水量が多く冬温暖な東海と三地域がそれぞれ。

3 交通網（高速道路）の特色

東京と大阪神にはさまれている。東海、中央高地、北陸の三つの地域にそれぞれ高速道路がある

【調べたことを整理する図】

【単元の学習課題】

...単元全体を通して追究していく（知りたい）こと

（例）自然環境や交通網を生かした地域産業の取組は、
どのように行われているのだろう。

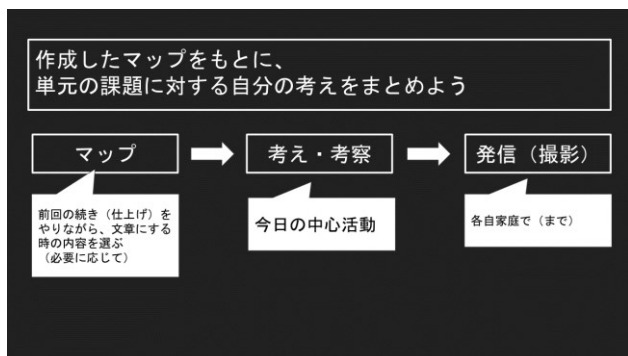
【単元の学習課題】

本資料に掲載されている商品又はサービスなどの名称は、各社の商標または登録商標です。

<各社の商標>

・Google スライド

・第2時～第4時 「第3章 日本の諸地域 第4節 中部地方②」



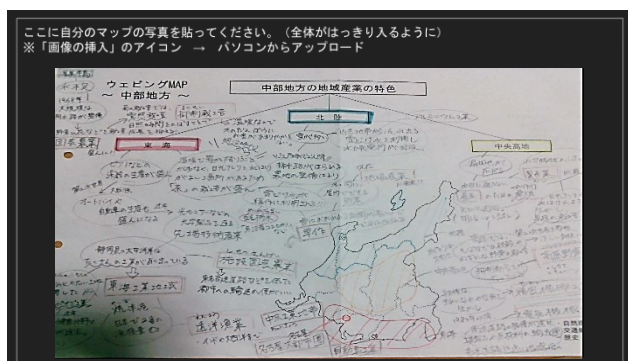
【追究活動の見通しを示した図】

考え・考察の視点

※以下の4点が入っていることがポイント

- ① マップから見た「単元の課題」に対する「自分の答え」
- ② 自分がとらえた中部地方の「産業の特色」
- ③ 地域ごとの産業（人々の取組）についての「具体例」
- ④ マップ作成を通して立てた「自分の考えたこと（主張）」

【考え・考察に関する視点】



【生徒が作成したウェビングマップ】

【単元の課題】

「クラスごとに作った単元の課題をここに打つ」

以下の1～5の手順を参考に作成する。

- 1 中部地方の自然環境・交通網などについて簡単に説明する
- 2 特に興味をもった内容について、理由や具体例を入れて説明する
- 3 「2」で見られる産業の具体例を紹介する
- 4 中部地方全体の共通点や相違点について、自分の考えをまとめる
- 5 ???

【考察の手順を示したもの】

持続可能な社会に繋がる **ブラッシュアップシート** ～ 批判的に考える力を伸ばそう！～

テーマ 「人々の生活は、自然を生かしてどのくらいか？」

自分の意見がしっかりと書かれていないなと思いました。Sより

中部地方は3つの地域の気候や地形を生かした産業が発達している。その中でも、中央高地が気候や地形を活かして産業が発達している。例えば、扇状地では日当たりや水はけの良さを利用して果樹を栽培しワインを製造し、観光客を呼んだり、一年中涼しい気候を活かして抑制栽培で高原野菜を作ったりなど活用しているところが多くあるところだ。

私は安中市の豊かな自然ときれいな水を活かして美味しい野菜などを作り、中央高地と近いことを活かしてお互いが自分たちの地域で作った食べ物などの特産物を送り合って、「安中市」という名前を両山の人々に広く知ってもらうことが安中市の発展につながるのではないかと考えた。

自分 considers, not just one but also a little more writing would be better. Uより

安中市の発展に繋がっているかどうか、...

視点
①テーマとずれていないか
②事実との矛盾はないか
③わかりにくいところはないか
④よりよくするアイデア

BEFORE → AFTER

【ブラッシュアップシートの活用の様子】

【単元の課題】

「自然環境と交通網を生かした産業はどのように発展していったのだろうか」

中部地方は3つの地域の気候や地形の特色を生かした産業が発達していて、それぞれでしかできない産業を沢山行っている。その中でも中央高地が、一年を通して涼しい気候を活かして高原野菜などを作っている点などを見て、気候や地形を活用しているものが多そうだなと思いついて調べてみた。

例えば中央高地には扇状地が広がっており、日当たりの良さや水はけの良さを活用して果樹を栽培して、ワインの製造を行っている。その製造されたワインを目的に近年では外国からの観光客も多いそうだ。高原野菜もただただ作るのではなく、抑制栽培を行って出荷時期をずらしたりなどたくさんの工夫をしていることがわかった。

私は安中市も中央高地のように地形や気候や、きれいな水を活かして美味しい野菜などをもっとたくさん作ってもいいのではないかと考えた。また、中央高地の軽井沢などの発展している場所に新鮮な野菜を送り「安中市」という名前を広く知ってもらうことが発展につながるのではないかと考えた。

【補完・修正した考察】

動画の撮影について

※各自で撮影し、保存してください

- ① 各自で練習し、本番のみ保存
- ② 目標は1分以内
- ③ 聞きやすい声の大きさ・速さで
- ④ ○月○日までに送る

【提出用の動画に関する確認事項】

動画を張り付ける！

【動画の貼り付け用スライド】

〔単元の学習課題2〕

中部地方の取り組みを学んで...
安中市の地域産業は、今後どうあるべきか？
(自然環境・交通網・郷土の歴史・将来・???)



【安中市への提言に向けて①】

持続可能なカタチで...

Q：共通するメリット・共通するデメリットはあるか？

Q：中部地方（北陸・中央高地・東海）ならではの産業の工夫を、「安中市ならではの」に生かすことは可能か？

Q：未来に向かって「地域の力」を最大活用できるか？



【安中市への提言に向けて②】

活動の見通し

学習してきたことを生かして、
「これからの安中市の地域産業の在り方」
を提案して下さい。

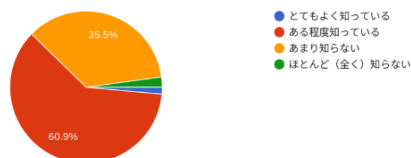
今回... 取り組みの案を決定 発表原稿をつくる スライドを作成
次回... 「公開録画（発表会）」

全員で分担して。いいものを仕上げましょう！

【安中市への提言に向けて③】

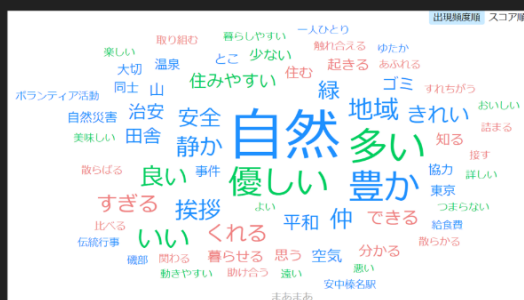
安中二中の2年生の回答

あなたは安中市のことをどれくらい知っていると思いますか。
138 件の回答



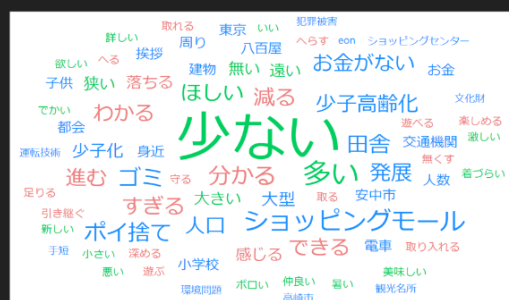
【アンケートの回答】

安中二中の2年生が考えた「安中市のいいところ」



【安中市のいいところ】

安中二中の2年生が考える「安中市の課題」



【安中市の課題】

お役立ちリンク集

安中市公式HP [安中市](#)

安中市の自然環境や現在の取組など第2章 新しい安中市環境基本計画の策定にあたって

[安中市観光・イベント](#) [観光・イベント](#) | [安中市](#)

[安中市農業募集チラシ](#) [安中市で農業を始めませんか！ - 群馬県ホームページ\(西部農業事務所普及指導課\)](#)

安中市 未来へつなぐ農業 「未来へつなぐ農業」①

安中市 防災マップ https://www.city.annaka.lg.jp/saigai_byouki_kinkyuji/files/kokoroecho.pdf

【活用するためのリンク集】